

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課 有料道路課
担当課長名：中島 威夫 金井 道夫

事業名	地域高規格道路「東広島廿日市道路」 一般国道2号 広島南道路		事業区分	一般国道 (二次改築)	事業主体	中国地方整備局、 広島県、広島市、 広島高速道路公社
起終点	自：広島県安芸郡海田町日の出町 至：広島県広島市西区商工センター4丁目				延長	14.8km
事業概要	東広島廿日市道路は、広島都市圏中心都市である広島市と東広島市及び廿日市市に至る約30kmの地域高規格道路である。 広島南道路は、地域高規格道路「東広島廿日市道路」を構成する延長14.8kmの道路である。					
H元年度事業化	S63、H9年度 都市計画決定		H2年度用地着手		H10年度工事着手	
全体事業費	約4,855億円		事業進捗率	37%	供用済延長	8.4km
計画交通量	53,700台/日					
費用対効果 分析結果	B/C： (事業全体) 1.7 (残業) 1.8	総費用：(残業)/(事業全体) 2,416/5,404億円 (事業費)：2,190/4,811億円 維持管理費：226/593億円	総便益：(残業)/(事業全体) 4,251/9,197億円 (走行時間短縮便益)：3,944/8,636億円 (走行費用減少便益)：228/444億円 (交通事故減少便益)：79/117億円	基準年： 平成15年		
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 国土・地域ネットワークの構築（地域高規格道路「東広島廿日市道路」の一部を構成） 物流効率化の支援（特定重要港湾広島港へのアクセス向上が見込まれる） 					他19項目に該当
関係する地方公共団体等の意見	広島南道路は、広島中心部に集中する交通を円滑に処理する重要な役割を果たすことが期待されており、広島市をはじめとする関係2市2町の首長で構成される広島南道路建設促進期成同盟会より早期完成の要望（平成15年11月27日）を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	広島市中心部は、商業活動において中国地方の中心的役割を果たしており、日常生活活動及び経済活動の活発化により、自動車交通量が増大し、慢性的な交通混雑を引き起こしている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	段階的な整備を進め、現在まで8.4kmを供用している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	関係機関と調整を図り、早期供用を目指し、事業を推進する。					
施設の構造や工法の変更等	建設副産物の発生抑制や再生材利用等により、今後ともコスト縮減に努めることとしている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。